



9年生 修学旅行

9年生は、5月18日（日）から20日（火）まで、修学旅行で、大阪関西万博、奈良、京都に行ってきました。初日は、曇空での万博。3時間30分の班行動。万博での様子を「万博の 美しい建築 観にふける」と書いている人がいました。約2kmの「大屋根リング」から万博が全貌できるのでその眺めを満喫している人、オーストリアの自動ピアノ演奏に感動している人、クラゲ館を楽しんだ人、120分待ちなどの長い時間並ぶパピリオンに入ることは難しかったですが、2つから5つのパピリオンを楽しむことができたようです。事前予約で班ごとに入場した国際連合パピリオンの球体の部屋では、「イマーシブ・シアター」で持続可能な未来を体感できました。「国連パピリオンでは、目標を達成するために皆で団結することの偉大さを知りました。万博は、子どもたちの興味関心を引き出せるとともに、SDGs達成に向けたチャレンジを体感することで、未来社会について主体的に考え、行動するきっかけとなると思いました。」や「2億円のトイレを絶対に見たいと思っていました。赤、青、オレンジなどのカラフルな色のトイレがあり、ジェンダーや女性、男性、子どもなどいろいろな種類がありました。メンテナンス中で外から写真を撮ることしかできませんでしたが、迷路のような見ためとユニークな形に圧倒されました。」「木で造られた巨大な建物である大屋根リング。伝統的な技は最新技術を展示する万博でも存在感がありました。伝統と未来が繋がっているように感じました。」と万博での感想を書いている人がいました。海外のパピリオンで、10分のお茶に誘われたはずが、もっと時間がかかり集合時間に遅刻した班、途中で班員と分かれてしまい集合場所の反対のゲートに行ってしまう遅刻した班等がありました。短い時間でしたが、世界の多様な人々に出会い、今まで知らなかった国の文化に触れ、国際理解や環境問題について考え、未来社会を少しだけ体験できました。この日は、リニューアルされてとてもきれいな奈良の旅館に泊まりました。

19日は、朝8時に旅館を出発して東大寺へ。朝早かったので、貸し切り状態でゆっくり大仏殿を見学できました。通常は長蛇の列の「柱くぐり」も上三生専用ようになっていて楽しんでいました。そして、奈良公園内での鹿の群れに餌をあげて楽しむ人、怖くて身動きが取れなくなってしまった人など、鹿との出会いで、時間を忘れていました。奈良駅チェック時間に間に合わなくなりそうで、駅まで走っている姿もありました。その後は、京都へ向かいました。東寺、伏見稲荷大社、三十三間堂、チェックポイントの清水寺、そして建仁寺、旅館に近い錦市場など班ごとに予定した見学をして、16時30分から17時までに旅館に到着。曇りが多かったのですが、少し暑かったですが、元気に歩いていました。修学旅行生を含め旅行者はとて多いので、人混みで班が分かれてしまったり、バスを乗り間違えたり、満員でバスに乗れなかったりなどのトラブルがあり、時間は少し遅れたものの体調不良もなく到着しました。「一つめの見学地から予定が狂ってしまったが、班長の的確な指示で遅れを取り戻すことができました。」「迷子になりそうな人が多い場所では、友達が引っ張って班のところに連れ戻してくれて本当に助かりました。」という感想がありました。部屋ごとの夕食では、京都の郷土料理を楽しみました。

最終日は、4時間30分のタクシー行動。「タクシーの運転手さんの話は、詳細で分かりやすく、まるでツアーガイドが話しているかのようでした。」という感想がありました。

2日間分の俳句の一部をホームページに掲載いたしましたが、最終日の俳句です。

・青葉風 願いを運ぶ 北野宮 ・車窓から かすかに感じる 京の風 ・水面に 映る過去と 金閣寺

この修学旅行で「時間のありがたさ」「班員一人一人を大切にすること」「先を見通して動くことの大切さ」「コミュニケーションをとることの大切さ」など学ぶことができたようです。また、「京都・奈良を訪れて強く感じたことがあります。人々が自分たちの町に誇りをもっているということです。私も自分の町である板橋に誇りをもてるようになりたいと思います。」「この3日間で、自分たちの住む板橋と違う点、建物の違いや方言、東京とは違う自然の多さ、様々な違うところを見付けることができたと思います。普段の生活ではあまり経験しないことを経験しました。」という感想がありました。班行動や集団生活を通じて、互いに尊重し協力することの大切さ、京都・奈良の歴史・文化・街並みに触れることで日本の文化や歴史を再認識するとともに、板橋の良さや違い、「これからの板橋」について考えるきっかけにもなったと思います。

6月行事予定

1	日	
2	月	振替休業日
3	火	安全点検 運動会準備
4	水	運動会 下校14時15分 実行委員下校15時頃 (定期考査一につき部活動中止13日まで)
5	木	眼科検診7・9年生13時30分から 8年生2、3、4校時起業家教育プログラム
6	金	5時間授業 生徒下校14時25分
7	土	
8	日	
9	月	全校朝礼 安全指導
10	火	
11	水	1学期期末考査(社会、英語、美術) 給食なし 下校12時10分
12	木	1学期期末考査(理科、技術家庭、音楽) 給食なし 下校12時05分
13	金	1学期期末考査(国語、数学、保体) 給食なし 下校12時10分
14	土	
15	日	
16	月	WEBQU
17	火	中央委員会
18	水	教員校内研修会 9年5組以外13時25分下校 9年5組14時30分下校 部活動再登校16時00分
19	木	専門委員会15時30分
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	生徒朝礼 第Ⅱ期時間割始
24	火	
25	水	下校14時25分部活動再登校16時00分
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

★生徒の活躍★

硬式テニス

第四ブロック大会 第2位 9年

都大会出場

第8位 8年

M34学びのエリア合同 iCS委員会

今年度初めて学びのエリア(上板橋第四小学校、前野小学校)合同のiCS委員会を開催しました。教員は、学びのエリアの研修会を年4回実施していますが、小学校iCS委員の方には、中学校の授業参観や中学校の教員と話す機会がほとんどありません。特別の教科 道徳 のいじめ防止に関する授業を参観していただき教員の自己紹介後、道徳の授業や学校や生徒の課題、良い点などについて三グループに分かれて熟議を行いました。

iCS委員の方からは、「道徳の授業を通して、自分なりの物差しをもって思いやりのある人になってほしい。」「どんなときでも他者を尊重していく態度を日常生活の様々な場面で育んでいくことで友情や信頼関係を築くことができ、いじめの防止につながる。」「道徳の授業を通して他者の考え方を知り、受け入れることで柔軟な考え方ができる人を育ててほしい。」などの意見をいただきました。また、小学校の授業のテーマは分かりやすく先生もかみ砕いて話されていること、小学校中学校ともに、互いが意見を出しやすい環境づくりをしていて、その環境づくりがとても重要であること、等のご意見もいただきました。

校外での様子として、「下校途中などで肩に手をかけている場面を見ることがあるが、互いに笑顔なので特に声をかけることもしなかったが、いじめか否かは判断が難しい。」「あいさつができる生徒が多い。」などのお話もありました。

昨年度のアンケートから本校の生徒は、「いじめはいかなる理由があってもいじめをしてはいけない」という意識が低いこと、意識を高めるために互いに認め合い、高め合える学級作りや生徒会発信でのいじめ防止の取組を行っていること、いじめ防止への取組に関しては小中で情報共有を図ること、などをお伝えしました。

小学校、中学校で様々な考え、見方があることわかりました。来年度もぜひ実施したいとのご意見をいただきました。

学校、地域、家庭と連携を図り、多様な人たちが互いに認め合い、支え合い、励まし合い、高め合える人になれるように指導していきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。